

「まちづくり基金」運用による元年度事業報告と次年度方針

藤巻町自治会会長（藤巻の“さと”を育む会 事務局長） 池田章一郎

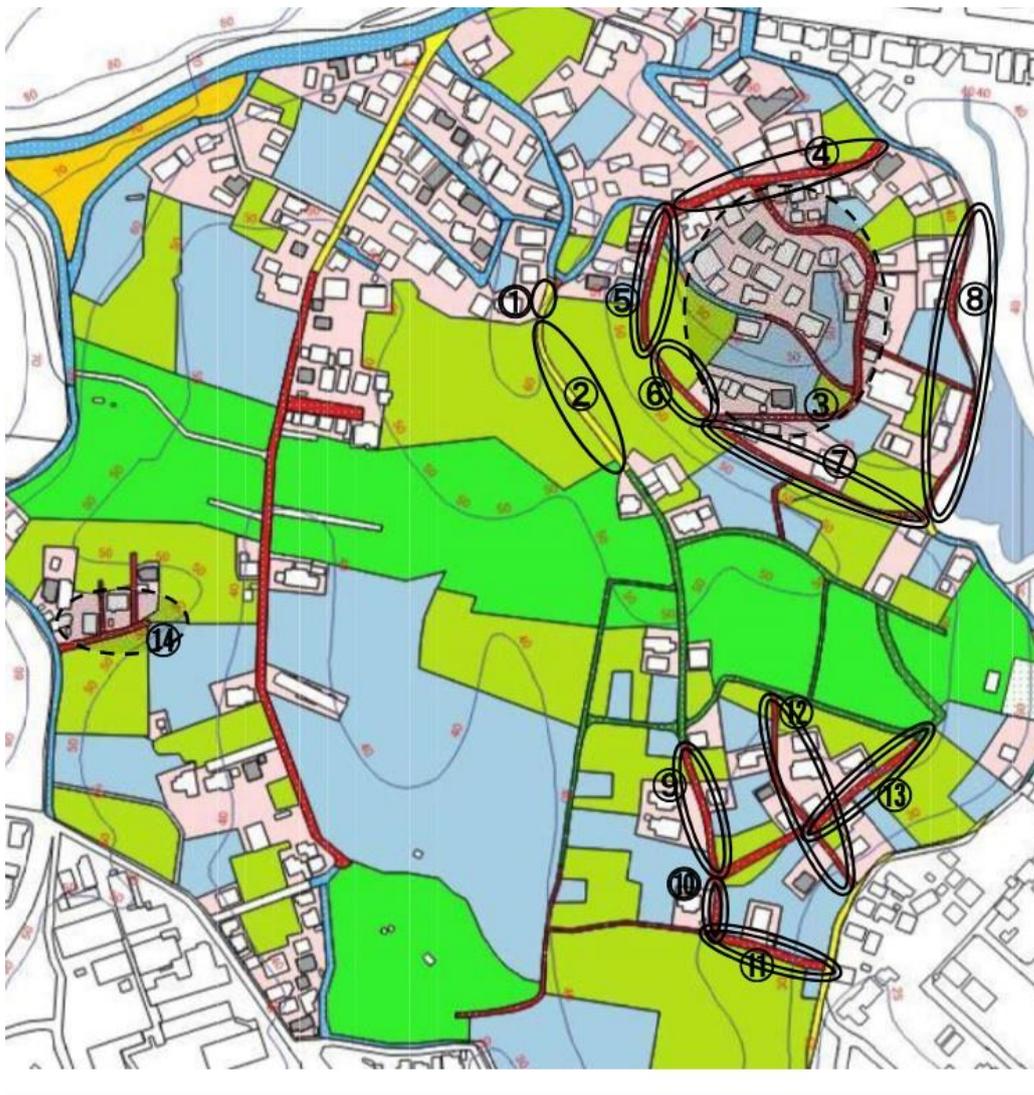
令和元年(2019)9月22日

7月組長会で「藤巻の“さと”を育む会」が提案し、承認を受けた「まちづくり基金」運用方針に基づき、本年（令和元年）度の事業を実施しました。（速報として8月回覧にも記載）

元年度事業の内容：

かねてより「まちづくり活動」の中で、「喫緊の課題」として対策が切望されている町内私道の補修に関して、「まちづくり基金」の枠内で特に優先度の高い個所（道路区間）を選定し、本年度事業として、この度以下の道路区間に於いて施工完了しました。（工事状況については、9月組長会に於いてスライドショーで披露。）

| ＜施工区間＞ | ＜工事日＞ | ＜費用＞ |
|---------------|------------|------------|
| (1) 道路No.⑩&⑪ | …6月13日 | ¥230,000 |
| (2) 道路No.⑫ | …7月24日、25日 | ¥350,000 |
| (3) 道路No.⑧ | …8月1日、2日 | ¥400,000 |
| (4) 自主補修用資材購入 | | ¥20,000 |
| 合計 | | ¥1,000,000 |



工事前

工事後

道路No.⑩、⑪



道路No.⑫



道路No.⑧



次年度以降の方針

まちづくり基金の残金は約 80 万円ですが、将来の「まちづくり活動」基金として約 30 万円を残すと、次年度使用可能な額は約 50 万円と考えられます。その範囲内では施工できる範囲は限られ、市の「オアシスの森事業」の早期着手に組み入れてもらうよう努力する必要があります。

⑨⑬については、特に状況の悪い部分は井野口氏を中心としたボランティア部隊が（14 組、15 組に置いた自主保守用資材の砂利に、別途セメントなどを使用して）維持補修します。

⑤⑥⑦の通行路については次年度に工法検討と一部の施工を考慮（丸見土建以外も考慮）。

ある程度の目途と最低限の対処の後には、市に「オアシスの森事業」の早期着手を促します。